

80. 白服の増えて中央線特快

(からむし) 7点

◎雀：破調に電車の音を感じて、爽快さのある句です。

11. てのひらに乗りさうな船花とべら (りん) 6点

◎雀：遠近法で描かれた鮮明さ。花とべらの取り合わせがぴったりです。

116. どの花もなく雫して晶子の忌

(としこ) 5点

◎雀：詩情があつて、瑞々しいです。

118. 六月や綾なして田へ急ぐ水

(澤) 5点

◎雀：「綾なして」の写実がいい。なめらかで豊かな流れを思い、水音が聞こえてくるようです。

20. 晩年の二人を映す代田水

(しつぽな) 3点

◎雀：長年連れ添って今年も田植えに勤しむ農家のご夫婦を思いました。新しい表現。

6. 大瑠璃の声あをあと消えゆけり

(健一) 10点

◎三晴：大瑠璃、その姿が見えず声だけなのに、やはり青々と感じられるんですね。

37. 六月のいろ水差しに水鉢に

(きや) 8点

◎きさ：六月のいろが効いています。青水無月の感じですね。

4. 六月の日の斑をふみて前のめり

(智子) 7点

◎節子：下五でガクンと面白いです。

78. 五六人乗せて舟出る花菖蒲

(とちおとめ) 6点

◎雀：菖蒲の花を見る小舟。よくまとまった句。

145. 青嶺遠し六根清浄唱へても

(しおのり子) 4点

◎雀：御嶽に登った時のことを思い出しました。かつては登れた山も今は遠い。

30. 六月の山の走り根胸騒ぎ

(翠々) 3点

◎指月：走り根は、足元の心配だけでなく、剥き出しのうねりに確かに別の胸騒ぎを覚えま

97. 六月の実のあをあと雨上がる

(ぼんだ) 2点

◎雀：六月はいろいろな木が実を結び始める時期。なんの実といわずに、調べもいいです。

109. 六月やむかしジュースは粉を溶き

(山音) 2点

◎雀：懐かしい。「六月」がなんだか似合っているのは衣更えの時期だからか。